

令和7年10月1日から令和8年3月31日までの業務状況及び経理状況について

1. 高山市下水道事業の概要

(1) 総括事項

令和7年度下期における高山市下水道事業の業務状況は、接続件数は29,518件で、前年同期比93件の増、処理水量は6,198,868 m³で、前年同期比178,961 m³(2.8%)の減、有収水量は4,742,878 m³で、前年同期比89,383 m³(1.8%)の減となりました。

経理状況については、営業収益は757,488,710円で前年同期比12,747,911円(1.7%)の減、営業外収益は868,187,663円で前年同期比53,717,231円(6.6%)の増となりました。事業費用は1,898,736,688円で、前年同期比11,158,357円(0.6%)の増となりました。当年度下期の収支は273,060,315円の純損失となり、上期の純利益273,060,315円を合わせると、当年度純利益としては0円となりました。

以上が令和7年度下期の業務状況、経理状況の概要です。近年の観光需要により下水道使用料収入は微減にとどまっていますが、今後の人口減少等に伴うサービス需要の減少や、施設の老朽化に伴う設備更新の増加など、下水道事業を取り巻く経営環境は厳しくなることが予想されます。下水道ビジョン・経営戦略に基づき、処理区再編を始めとする経営の効率化や健全化に取り組むとともに、処理施設の長寿命化等を計画的に実施し、汚水の適正処理による快適な生活環境と、流域の良好な水質確保に努めてまいります。